

2017年度（平成29年度）普通会計決算見込み

「概況」

2017年度（平成29年度）は、未来づくりの目標として「活力と魅力に満ちた輝くまち」を掲げ、市制施行100周年後の新たなまちづくりに向けた第五次福山市総合計画がスタートしました。

将来にわたって成長する都市の実現に向け、新総合体育館の建設に着手したほか、中学校給食完全実施に向けた整備やタブレット型パソコンの導入などの教育環境の充実、スマートインターチェンジなどの産業基盤整備など、財政の健全性に配慮しながら、将来の発展に向けた投資に積極的に取り組んでまいりました。

2017年度（平成29年度）決算は、前年度と比べ、歳入は約10億円（△0.6%）、歳出は約16億円（△1.0%）の減少となりました。

歳入では、基幹となる市税が前年度を8.2億円上回る738億円となりました。主な内訳として、企業収益の改善に伴い法人市民税が4.2億円、家屋及び償却資産の増等により固定資産税が3.7億円増加したことによるものです。

また、市債が総合体育館整備事業債の増などから15.7億円増加し、諸収入は19億円、寄附金は10億円減少しました。

歳出では、総合体育館整備費など投資的経費が増加したほか、障がい福祉サービス事業費や、保険会計への繰出金などの社会保障関係費は引き続き増加傾向にあります。こうした中にあっても定員管理適正化の取組による人件費の減少や、市債の抑制による公債費の減少など、健全で持続可能な財政運営に取り組んでまいりました。

2017年度（平成29年度）の決算については、次のとおりです。

「決算規模等」

（単位：千円 %）

区 分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
歳 入 総 額	170,655,067	171,734,423	△ 1,079,356	△ 0.6
歳 出 総 額	164,878,036	166,509,668	△ 1,631,632	△ 1.0
歳入歳出差引額	5,777,031	5,224,755	552,276	10.6
翌年度へ繰り越すべき財源	1,996,075	1,657,928	338,147	20.4
実 質 収 支	3,780,956	3,566,827	214,129	6.0

※ 実質収支は、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を引いたもの。